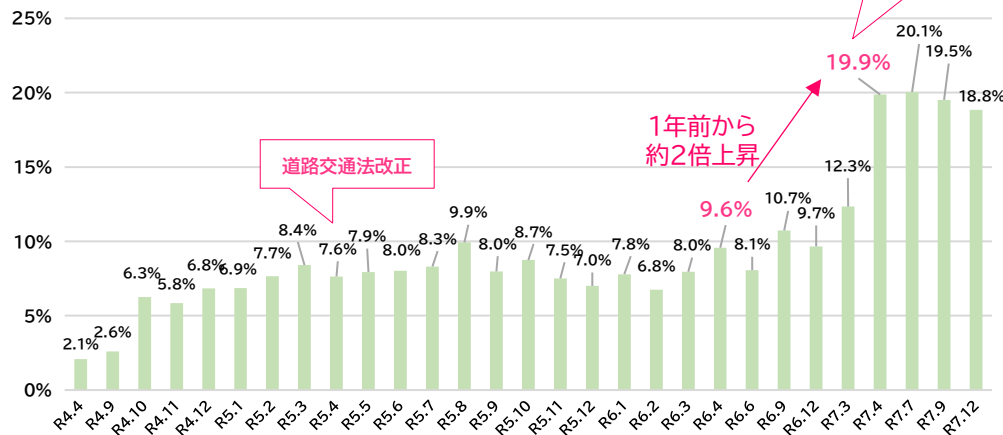


1 熊本市内の着用率の推移

■自転車ヘルメット着用率調査(熊本市)



■全国自転車乗車用ヘルメット着用率調査 ※令和7.9.11 警察庁発表
 熊本県の着用率が **令和6年の 11.1%(全国30位)から大きく上昇し、22.6%(全国16位)**となった。

2 ヘルメット購入補助の状況



■令和7年度(現在実施中)

- ・申請期間: R7.4.1~R8.3.31
- ・補助対象者: 熊本市在住で高校3年生の世代以下の子ども
- ・補助金額: 上限2,000円

これまで約6,500人に補助金を支出

年代		R7.2~3月	R7.4月~R8.1月
小学生	乳幼児	—	579
	1年生	—	208
	2年生	—	214
	3年生	—	237
	4年生	—	293
	5年生	—	220
中学生	6年生	—	247
	1年生	—	516
	2年生	—	234
高校生	3年生	—	175
	1年生	1,343	235
	2年生	830	131
合計		3,032	3,425

3 教育機関におけるヘルメット着用推進

- 小・中・高の学校において、自転車乗車時の交通ルールを学ぶ交通安全教室を実施
- 令和7年4月から公立高校で、自転車通学時のヘルメット着用が通学許可条件
- 私立高校にも「ヘルメット着用の通学許可条件」に向けた働きかけを実施

■私立高校での進め方(イメージ)

STEP1

① 現場教員の声

② 生徒の声

③ 保護者の声

意見集約

STEP2

ヘルメット着用の取組強化

- ✓ 在校生への着用の機運醸成
- ✓ 新一年生からの段階的な着用
- ✓ 私立高校との合意形成

+啓発活動など

STEP3

通学許可条件の導入促進

■現在の取組状況

① 生徒指導教諭へのヒアリング(R7.10)

【主な意見】

- ・通学許可条件を進めるには、**私立高校が足並みをそろえる必要がある**
- ・自校のみ通学許可条件とすると**生徒募集に不利に働く可能性を懸念**
- ・ヘルメット着用が努力義務であるため、**指導方法に難しさ**がある



② 私立高校生とのワークショップ(R7.12)

【主なアイディア】

- ・ヘルメット着用の校則化
- ・着用率のクラス対抗戦
- ・化粧ルームを設置
- ・制服に合うヘルメット開発
- ・ステッカーでデコレーション
- ・VRを活用した事故体験



■今後の展開

- ✓ 保護者との意見交換やアンケート調査を実施し、意見をとりまとめる
- ✓ 高校や警察など関係機関と連携し、生徒に対する啓発活動を実施